



今期をもって勇退する議員の挨拶（3月25日）

3月 定例会 平成23年度当初予算を可決

3月定例会は繰り上げ招集され、2月23日から3月25日までの31日間の会期で開かれました。

今定例会では、「平成23年度福井市一般会計予算」を初めとする各会計予算及び各会計補正予算、「福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について」、「福井市保育実施条例の一部改正について」、「福井市景観条例の一部改正について」など市長提出議案42件、報告4件を審議した結果、議案はいずれも原案どおり可決、報告については4件を受理しました。

また、請願・陳情については、今回提出された陳情1件、12月定例会において継続審査となっていた請願4件と陳情1件を審議した結果、請願1件、陳情1件を採択、請願2件を不採択、請願1件、陳情1件を継続審査とすることに決定しました。

また、議員提出議案として、「原子力発電所の安全確保を求める決議について」、「JKA交付金制度の改善を緊急に求める意見書について」、「TPP交渉への参加に反対する意見書について」など5件を審議した結果、いずれも原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を17人の議員が行い、3月25日に予定した日程を全部終え閉会しました。

INDEX

主な内容

1	3月定例会の概要
2	主な議案
3	委員会審査
4～5	一般質問
6	予算特別委員会
7	議会日誌
7～8	議案等の審議結果

平成23年度 各会計予算総括表 (単位: 千円)

会計区分		予算額
一般会計		104,282,000
特別会計	国民健康保険	24,831,000
	国民健康保険診療所	29,100
	老人保健	11,600
	後期高齢者医療	2,804,000
	介護保険	19,914,000
	交通災害共済	36,300
	競輪	12,461,000
	簡易水道	338,000
	宅地造成	5,666,000
	中央卸売市場	1,318,000
	駐車場	516,000
	集落排水	1,111,000
	地域生活排水	355,000
	福井駅周辺整備	891,000
企業会計	下水道事業	14,970,000
	ガス事業	4,863,000
	水道事業	8,663,000
合計		203,060,000

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、7～8頁に掲載しています。

平成23年度当初予算

今回の当初予算は、ともに計画期間の最終年度を迎える「希望と安心のふくい新ビジョン」実現のための基本方針」と「第5次福井市総合計画」に掲げた事業について、昨年の中間検証や行政評価、外部評価で得た意見等を基に目標水準を達成できると重点的に編成したものと

です。なお、各会計予算は左表のとおりです。

平成22年度補正予算

今回の補正予算は、市民の生活の安心確保のため事業費の増額を行うものなどで、木造住宅耐震化緊急支援事業、えちぜん鉄道や地方バス路線の運行補助金など、一般会計で22億4,530万6千円を増額、また、

平成23年度補正予算

福井市国民健康保険特別会計ほか1つの特別会計、2つの企業会計で9億4,815万5千円を増額するもので、補正後の予算額は全会計で2,081億5,446万1千円となります。

今回の補正予算は、国庫補助事業事務費にかかわる経理処理の一部に不適正なものがあつたことに伴い、広く職員を監督する立場にある特別職等がその責任を明らかにし、給料を減額するため、一般会計で94万8千円、水道事業会計で15万5千円を減額するもので、補正後の予算額は全会計で2,030億5,889万7千円となります。

条例

福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

本年10月から子供の医療費の助成対象年齢を満9歳から満15歳に拡大するものです。

福井市保育実施条例の一部改正について

平成23年度から認定こども園が設置されることに伴い、所要の規定の整備を行うものです。

福井市休日急患センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

本年4月から福井市休日急患センターの診療日及び診療時間を変更するものです。

市会案(議員提出議案)

条例

福井市議会委員会条例の一部改正について

改選による議員定数の削減に伴い、委員会の定数の変更を行うものです。

福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

議員が本会議その他の議会の招集に応じたときに支給する費用弁償を廃止するものです。

意見書の提出

TPP交渉への参加に反対する意見書

JKA交付金制度の改善を緊急に求める意見書

以上2つの意見書は、地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

決議

原子力発電所の安全確保を求める決議

市に対し、原子力発電所の安全確保における次の事項について、適切な措置を講ずるよう求めるものです。

1. 市民の安全・安心のため、本市における原子力防災対策を根本から見直し、効果的な対策を行うこと。

2. 電力事業者に対し、福井県における原子力発電所の安全確保について、強く要望すること。

3. 国、県に対し、今回の事故の状況、原因等に関する詳細な情報の速やかな公開を求めるとともに、原子力防災対策に関する基準等を総合的に見直すことを強く要望すること。

おくやみ

浜田篤議員がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。



故 浜田 篤議員

浜田篤氏が、去る1月23日、お亡くなりになりました。氏は平成15年4月に初当選され、農林水産業振興対策特別委員会副委員長などを歴任され、地方自治の振興と発展に寄与されました。(享年62歳)

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会からの主要な質疑等を紹介いたします。

産業・観光対策 特別委員会

《広域観光の推進》

問 県外観光客や外国人観光客に対し、県内の各観光地を結ぶための二次交通の充実や観光地の環境整備についてどのように考えているのか。

答 二次交通として永平寺と一乗谷朝倉氏遺跡を結ぶ

永平寺・朝倉ライナーが運行されているが、他の観光地については未整備の部分も多い。今後は案内看板の設置など、観光地の環境整備とあわせて検討していく。

環境・エネルギー対策 特別委員会

《福井市環境基本計画》

問 福井市環境基本計画の改定に際し、現行計画の数値目標が達成されていないものがいくつかあるが、原因はなにか。また今後の対策は。

事業として取り組む場合は安定した水温や生残率の向上などの課題の克服が必要であり、流通ベースに乗せるには採算性などを見極める必要がある。また、アワビやヒラメの研究には最低3年間は必要である

答 緑地面積率や都市公園の面積など、社会的情勢により達成されなかったものがある。新たな基本計画では数値目標を妥当なものに絞り込み、新たな環境改善に向けた取り組みを市民、事業者、市民組織と連携して取り組んでいく。

問 中間育成施設を活用してアワビやヒラメの養殖研究を進めているとのことだが、今後専門的な施設をつくったり、ブランド化を進めるなど事業化に向けた取り組みを行う予定はあるのか。また今後の調査研究の用途は。

農林水産業振興対策 特別委員会

《水産技術研究事業》

問 事業として取り組む場合は安定した水温や生残率の向上などの課題の克服が必要であり、流通ベースに乗せるには採算性などを見極める必要がある。また、アワビやヒラメの研究には最低3年間は必要である

考えており、引き続き研究を実施する中で、漁業者の意向も踏まえながら結論を出していく。

県都活性化対策 特別委員会

《福井駅西口中央地区市街地再開発事業》

問 西口再開発ビルの新たな計画の目的が立っていない中、次の案はいつごろ示されるのか。

答 平成30年の福井国体までの完成を念頭に平成23年度中には新たな計画の整理を終えたいと考えている。

総務委員会

《自治会合併》

問 自治会活動マニュアルの作成状況は。また自治会の合併事例はあるのか。

答 自治会活動をサポートするため、過去の相談事例や問題解決事例をデータベース化した自治会活動マニュアルを全自治会長へ配布した。合併事例としては、旭地区及び湊地区において2自治会の合併事例がある。

建設委員会

《バス交通維持・活性化支援事業》

問 今後のバス運行支援についての取り組みは。

答 路線バスについては運行事業者と連携し、地域のニーズに合った運行に取り組む。

問 地域コミュニティバスについては、地域が一体となって、取り組む地域をサポートしていく。また、美山地区や越廼地区の地域バスはスクールバスと兼用しているのか、今後も維持していく。

教育民生委員会

《免鳥長山古墳公有化事業》

問 古墳の保存という本来の目的を逸脱することなく、かつ多くの人に古墳を見ていただくことも大事であり、周辺整備に係る年次計画を示す必要があるのではないか。

答 学識経験者や地元住民を含めた免鳥古墳群整備検討委員会を立ち上げ、古墳の修復・復原及び観光の視点から周辺整備を含めた保存管理計画を策定する。

経済企業委員会

《企業誘致促進事業》

問 企業立地助成金及び雇用奨励助成金の助成内容。

答 企業立地助成金は、企業立地が確定して用地を購入し、10人以上の新規雇用を行ったうえで3年以内に創業を開始すれば補助金を交付するものであり、雇用奨励助成金は企業立地助成金該当企業の新規雇用者に対して3年間にわたり補助金を交付するものである。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、17人の議員が一般質問を行いました。
(※ 議員名の前についている番号は質問順)

(敬称略)

①皆川 信正 1 商店街の育成について 2 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について 3 北陸新幹線・えちぜん鉄道高架化について 4 観光客の散策誘導路づくりについて	②峯田 信一 1 平成23年度の予算編成の基本方針について 2 陽子線がん治療について	③野嶋 祐記 1 雪に強いまちについて 2 企業及びオフィス立地促進について 3 大手3丁目におけるビル解体時のガス爆発事故について
④堀江 廣海 1 平成23年度当初予算と福井の将来について	⑤西本 恵一 1 財政運営について 2 北陸新幹線について 3 経理適正化に関する自主調査について 4 支え合う社会へ 地域を伸ばすために	⑥島川 由美子 1 がん対策について 2 市営住宅について 3 買物弱者への支援について
⑦巳寅 令子 1 学習環境整備について 2 気がかりな子の支援について 3 安心・安全なまちづくりについて 4 文化財保護センターについて	⑧高田 訓子 1 学校教育について 2 男女共同参画事業について 3 発達障害児者への支援について 4 観光のまちづくりについて 5 ごみの諸問題について 6 道路、公園、下水道整備について 7 将来のまちづくりと組織文化の方向について	⑨青木 幹雄 1 当初議案の提案理由説明について 2 福井市財務書類4表について
⑩堀川 秀樹 1 お江効果における経済効果について 2 B-1グランプリ及び全国ご当地どんぶり選手権参戦における戦略について 3 アクティブスペースの活用について	⑪鈴木 正樹 1 国民健康保険証の取り上げと国保広域化について 2 介護保険料引き下げと低所得者への介護対策について 3 子ども・子育て新システムと福井市の進める保育園民営化について 4 三秀プールについて	⑫吉田 琴一 1 除雪対応について 2 消防局の通報システムの危機管理体制について 3 鳥獣害対策緩衝帯創生モデル事業について 4 クリーンセンターの大規模改修事業に伴う効果や地域農業振興策について 5 北庄城復元模型製作事業について
⑬奥島 光晴 1 ふくい春まつりについて 2 除雪の反省点と今後の課題について	⑭今村 辰和 1 地上デジタル放送への今後の対応について 2 今年度の除雪について 3 子ども急患・休日急患センターの運営について 4 市民サービスの向上について	⑮西村 公子 1 子ども医療費助成制度拡充について 2 学校施設整備と就学援助の拡充について 3 除雪体制について 4 民生委員に関する諸問題について 5 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加による影響と反対運動の広がりについて
⑯加藤 貞信 1 福井市都市計画マスタープランにおける都市づくり及び北部地域(森田・河合)のまちづくりについて	⑰下畑 健二 1 生活者の視点に立った除雪対策の拡充について 2 空き家対策について 3 学校における学習環境の向上と課題について	

一般質問要旨

商店街育成

問 平成23年度から取り組む商店街等新ビジネスモデル事業の内容は。

答 商店街等が連携して取り組む新ビジネスに対して助成を行うもので、個店同士の結束を深め、地域商店街の活性化を図っていく。具体的には、橋南地区の9商店街が運営協議会を設置、宅配事業者と連携し、日常の買物が困難な高齢者等に対して商品を配達するサービスを行うものであり、地域商店街の活性化及び買物弱者への支援につなげていく。

ガス爆発事故

問 大手3丁目のビル解体時におけるガス爆発事故について、再発防止のための今後の対策は。

答 事故後、解体工事に携わる53の事業者を対象に安全講習会を実施し、ガスの特性、敷設状況、ガスが休止となっている配管状態などを詳細に説明し、各事業者者に注意を喚起した。
今後はガスの使用が休止になっているガス管に保安シールを貼り、注意喚起を促すとともに、ガス管の移動・撤去

の際の企業局への連絡を周知徹底する。また、ガス管の取扱注意啓発パンフレットを配布し、ガス事故の発生防止に努める。

がん教育

問 子宮頸がん等のワクチン接種及び検診の重要性について、対象者や保護者に周知するための取り組みは。

答 学校における保健体育等の単元の中で、子宮頸がんやその予防について正しい知識が習得できるよう考えていく。また保護者に対しては、個別通知の中で詳細に情報提供していく。

将来のまちづくり

問 市長の考えるまちづくりの方向性は。

答 平成19年12月に市長に就任して以来、希望と安心のふくい新ビジョンの実現に向けて全力を注いできた。この中で、希望と安心を前面に打ち出し、家族が笑顔で暮らせるまちを目指して、様々な事業を展開してきた。

また、昨年実施した市民意識調査においても、望む福井の将来像について、7割近くの方が「誰もが安心して暮らせる安全都市」としていることから、若者が将来に希望を持って働き、市民一人一人が安心と安全を

感できるまちの実現に向け、今後も取り組んでいく。

B-1グランプリ

問 B-1グランプリ参戦に向けた平成23年度の取り組みは。

答 過去に「食」に関する取り組みを行ってきた青年会議所と連携し、本大会の視察や他の参戦団体の取り組みを研究するなどの活動を通して「ふくいB-1グランプリ」を決める地元予選会を実施したい。

認定こども園

問 認定こども園において障害児や低所得者が排除されない仕組みが必要ではないか。

答 市が進めている幼保連携型の認定こども園では、園から市に入所申込書が送付され、市が保育に欠けることの認定を行う。このため、園は障害を持つ子供や低所得の家庭の子供など、特別な配慮が必要な子供の入所を拒むことはできないこととなっている。

現在進めている平成23年4月に向けた入所決定事務にあたっては、市と認定こども園が事前に協議を行った結果、市と同じ基準で選考を行うことを確認している。実際の選定作業

は市と認定こども園が協力して実施するなど、認定こども園の保育部に入所を希望する児童についても、私立保育園に入園を希望する児童と同様の対応を行っており、障害を持つことや低所得家庭であることを理由に排除されることはない。

クリーンセンター改修

問 クリーンセンター改修工事にあたり目標や費用対効果は。

答 今回の改修の目標は、省エネ型機器の導入や余剰蒸気の有効利用による効果により、稼働に必要なエネルギーの消費に伴い排出される二酸化炭素の排出量に換算して約26%削減することである。

計画では省エネ型機器を導入することにより、消費電力を抑え、約140キロワットの削減を図る。また、ごみ焼却により発生する余剰蒸気の有効利用により、360キロワットの発電量の増加を図る。この結果、年間360万キロワットアワーの売電を見込んでいる。

除雪対策

問 除雪対策における市内業者の育成についてどのように考えているか。

答 長年の建設業全般にわたる不況の影響により建設業者は疲弊し、倒産や従業員数の削減、また除雪業務にいたっては熟練オペレーターの減少や担い手の不足が深刻化している。これらの状況から、機械管理費等の固定費の見直しや福井市道路除排雪機械整備費補助金事業の創設など、除雪協力業者の負担を軽くする対策を講じていく。

TPPへの参加

問 TPPへの参加について、どのように考えているか。

答 市内でも農業団体等がTPP参加に反対する一方で、参加の必要性を強調する企業もある。地域経済を支える農業の役割は大きい一方、工業等がもたらす雇用も大きなウェイトを占めていることから、農業・工業に及ぼす影響を客観的に見極める必要があり、国や県、他自治体の動向とあわせ、慎重に考えていく。



予算特別委員会

委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介します。

委員の変更

8名の委員から辞任願が提出されたため、2月23日の本会議において、新たに8名の委員の選任を行いました。

【辞任】

中谷 輝雄 西村 公子
山口 清盛 見谷 喜代三
稲木 義幸 青木 幹雄
島川 由美子 奥島 光晴
(敬称略)

【選任】

田辺 義輝 松山 俊弘
石丸 浜夫 野嶋 祐記
今村 辰和 鈴木 正樹
堀江 廣海 下畑 健二
(敬称略)

審査結果

2月23日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算議案及び市政上の重要案件について審査するため、3月17日及び18日に委員会を開催しました。

審査の結果、付託された予算議案については、いずれも原案どおり可決しました。
(議案名は7～8頁参照)

主な質疑

平成23年度当初予算案

問 法人市民税の収収を今年度よりも多く計上しているが、今回の地震により収収が減ることが予想されており、不要不急な予算を凍結すべきでは。

答 現在の国内の状況を考えれば、法人市民税の減収が予想される。今後財政状況が厳しくなれば、不要不急の予算の削減も検討していく。

福井シンドローム

問 全国的な少子高齢化による人口減少、産業衰退といった負のスパイラルを断ち切るための対策は。

答 少子化対策を引き続き実施していくほか、生産活動及び消費活動の増加のために本市に根ざした産業を育成させていく。

防災行政無線の運用

問 災害情報等の放送を実施する判断基準は。

答 震度5弱以上の地震が発生した場合は、消防庁から全国瞬時警報システムを介して本市に入った情報を市内全域に一齐に放送する。そのほか、人命に関わるような災害の場合は関係地域に対して放送する。

携帯電話不感地帯

問 これまでの成果と今後の方針は。

答 平成22年度は国庫補助事業などを活用し、西別所町、宿堂町、水谷町の3集落が解消される予定である。

なお、平成23年度は本市が光ファイバーを設置し、携帯電話事業者に基地局の設置を促す。

北陸新幹線

問 北陸新幹線の必要性を問う声がある中、どう考えるか。

答 今回のような地震等の災害を考えると、東海道新幹線の代替補完ルート機能を担う北陸新幹線の必要性はさらに高くなった。今後も県や沿線市町と連携を図り、早期着工に向け、国への要望を継続していく。

第4次福井市男女共同参画基本計画

問 基本的な考え方とその策定手順は。

答 男女共同参画社会の形成には、行政のみでなく、

市民、市民組織、事業者などとの連携が必要であり、このような観点で計画策定の基本になると考えている。

また、計画策定にあたっては、これらの考えを明確に整理した男女共同参画ネットワークの提言も参考にしながら、来年度、男女共同参画審議会において協議を重ね、公聴会の開催なども視野に入れつつ策定を進めていく。

除雪体制

問 農村部において、除雪作業が可能な機械とオペレーターを保有する団体に対して除雪作業を委託できないのか。

答 除雪は継続性が大切であると考えており、法人等から申し出があれば、除雪作業に必要な機械の保有状況の確認や、周辺エリア路線の除雪業者との兼ね合いなどを勘案し、委託できるかを検討する。

観光における外国人の受け入れ

問 海外からの観光客を誘致するため、どう取り組むのか。

答 観光案内所へ外国語対応要員を配置するほか、観光ガイドブックの配布、宿泊事業者への外国語研修を実施しており、今後は、福井坂井奥越広域観光圏など、広域

的な観点で取り組むことが大事であると考えている。

美山地区の簡易水道料金統一

問 新料金体制への移行に関する地元説明会において、どのような意見があったのか。

答 現在、地元で行っている水道施設の維持管理が負担になっており、一日も早く市に引き継いでほしいという意見がある一方で、これまで苦勞して施設の維持管理を行ってきたのに急に料金が上がるのは納得できないという厳しい意見もあった。しかし、全体的には、福井市が全面的に施設の維持管理を行い、安全で安心な水道水を供給できるのであれば、やむを得ないとの意見であった。



議案番号	件名	審議結果	
第20号議案	外国の地方公共団体の機関等に派遣される福井市職員の処遇等に関する条例の一部改正について	3月25日	原案可決
第21号議案	福井市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について	〃	〃
第22号議案	福井市保育実施条例の一部改正について	〃	〃
第23号議案	福井市休日急患センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃
第24号議案	福井都市計画事業北部第七土地区画整理事業施行規程等の一部改正について	〃	〃
第25号議案	福井市農業委員会に関する条例の一部改正について	〃	〃
第26号議案	福井市中山間地域活性化推進基金条例の廃止について	〃	〃
第27号議案	平成23年度福井市一般会計補正予算	〃	〃
第28号議案	平成23年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃
第29号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃
第30号議案	福井市教育長の給与等に関する条例の一部改正について	〃	〃
第31号議案	福井市企業管理者の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃
第119号議案	平成22年度福井市一般会計補正予算	〃	〃
第120号議案	平成22年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃
第121号議案	平成22年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃
第122号議案	平成22年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃
第123号議案	平成22年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃
第124号議案	平成22年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃	〃
第125号議案	平成22年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃
第126号議案	平成22年度福井市ガス事業会計補正予算	〃	〃
第127号議案	土地の取得について(免鳥長山古墳公有化事業の用地)	〃	〃
第128号議案	権利の放棄について(出資金に係る権利)	〃	〃
第129号議案	市道の路線の認定について	〃	〃
第37号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	2月23日	受理
第38号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
第39号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
第40号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	〃	〃
市会案第34号	福井市議会委員会条例の一部改正について	3月25日	原案可決
市会案第35号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	〃	〃
市会案第36号	J K A交付金制度の改善を緊急に求める意見書について	〃	〃
市会案第37号	T P P交渉への参加に反対する意見書について	〃	〃
市会案第38号	原子力発電所の安全確保を求める決議について	〃	〃

(3月定例会) 請願・陳情の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議結果	
請願第15号	政府への日米間におけるF T A (自由貿易協定) 締結に反対する意見書提出について	3月25日	継続審査
請願第20号	T P Pの参加に反対する意見書提出について	〃	採択
請願第21号	米価の大暴落に歯止めを求める意見書提出について	〃	不採択
請願第22号	免税軽油制度の継続を求める意見書提出について	〃	〃
陳情第20号	B型肝炎訴訟の早期全面解決を求める意見書提出について	〃	継続審査
陳情第21号	T P P交渉参加反対を求める意見書提出について	〃	採択

次回5月臨時会及び6月定例会です
(日程が決まり次第ホームページでお知らせします。)

傍聴してみませんか

傍聴のできる会議

- 一般会席 91
- 車イス用スペース 6

本会議

常任委員会

- 総務
- 建設
- 教育民生
- 経済企業

特別委員会

予算

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課

076-20-1510

なお、本会議・予算特別委員会の模様は、ふくチャネル(福井ケーブルテレビ：アナログ29ch、デジタル092ch)、美山地区はこの国ケーブルテレビ：アナログ1ch、デジタル092ch)で生中継及び録画放映されます。